

一 般 質 問 通 告 順 序 表

No.1 (12月8日)

番 号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	楮 山 四 夫	市 長 教 育 長	<p>1. 市職員の勤務実態等について</p> <p>(1) 最近、長時間労働の問題が大きく報道されているが、本市職員の労働時間の実態について伺う。</p> <p>(2) 職員への時間外手当の支給状況について伺う。</p> <p>(3) 臨時職員・パート職員等の賃金支払い状況等について伺う。</p> <p>(4) 電算システム等の外部委託状況及び端末機器の設置状況について伺う。</p> <p>(5) 公用車の所有台数と運行状況について伺う。</p> <p>2. 農業振興について</p> <p>(1) 少子高齢化の進行により農業従事者が急速に減少し、農業は衰退の一途をたどっている。今後の農業振興策をどのように考えるか。</p> <p>(2) 前床地区のほ場整備地内の農振除外の要請が多いが、その現況と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(3) 最近、有害鳥獣の捕獲数が増加しているが、捕獲獣の食品化、加工等の考えはないか。</p> <p>3. 学校教育について</p> <p>(1) 小中一貫教育の研究の成果と課題をふまえ、今後の推進計画を伺う。</p> <p>(2) 学区の見直しは考えられないか。</p> <p>(3) 学校施設の整備状況と空調設備の設置について、現状と今後の計画について伺う。</p>
2	福 田 道 代	市 長 教 育 長	<p>1. 原発問題について</p> <p>(1) 福島第一原発事故から6年近くが経過するが、収束とはほど遠く約8万6千人の人々が避難生活を強いられている。今後の賠償や廃炉費用は20兆円超に上がり、その7割は国民負担と言われるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 川内原発1号機は、現在点検中であるが、熊本地震以降、市民は不安を払拭されていない状況である。九州電力は本市に安全性を示す説明会を実施すべきではないか。</p> <p>2. 神村学園前駅の横断歩道橋建設について</p> <p>神村学園前駅に横断歩道橋と連絡通路の建設計画があるが、これまでの経緯と今後の計画について伺う。</p> <p>3. いちき串木野電力について</p> <p>(1) 電力使用料金の収益により、住民サービス改善に活用するとあるが、具体的な内容について伺う。</p> <p>(2) 20アンペア以下の世帯は契約の対象外となっている。今後、契約対象の拡充はされないのか。</p> <p>(3) 一般市民向けに説明会を開催して周知を図るべきではないか。</p> <p>4. 就学援助制度について</p> <p>就学援助費の支給時期が9月下旬となっており遅いのではないか。支給時期を改善する考えはないか伺う。</p>

3	東 育 代 市 長		<p>1. 防災・減災について</p> <p>(1) 自助・共助・協働を原則として、社会や地域の中で防災力を高めるための活動を期待し、十分な意識と一定の知識・技能を修得、認定を受けた防災士が身近にいることは、安心・安全な地域づくりに繋がると思われるが、防災士の養成を行う考えはないか伺う。</p> <p>(2) 自主防災組織の推進に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 女性の視点も重要な防災会議等への女性の登用率について伺う。</p> <p>(4) 災害時に配慮が必要な人への支援体制が重要と思われるが、福祉避難所の指定に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(5) 災害避難情報等の発信時における、防災用語の周知及び広報のあり方について伺う。</p> <p>2. 人口減少対策について</p> <p>(1) 子育て環境（全天候型のちびっこ広場）の整備について伺う。</p> <p>(2) 障がい児又は療育の支援を必要とする児童及びその保護者に対し、継続的支援を専門的に行う子育て相談室の設置について伺う。</p> <p>(3) 婚活支援事業の「“恋”逢プロジェクト」について伺う。</p> <p>(4) 核家族化の進行で、子育てや介護の問題が増加しているが、既存の定住促進補助制度等を3世代同居世帯まで拡充できないか伺う。</p>
4	西 別 府 治 市 長		<p>1. 酔之尾川の河川改修計画について</p> <p>(1) 郷之原ガタ下線より下流の老朽化した石積護岸や法面の状況について伺う。</p> <p>(2) 河川改修計画について伺う。</p> <p>2. TPP協定と持続可能な沿岸漁業について</p> <p>(1) TPP協定に伴う沿岸漁業への影響について伺う。</p> <p>(2) 地方創生における沿岸漁業の収益性の高い体制について伺う。</p> <p>①「浜の活力再生プラン」支援について伺う。</p> <p>②産地水産業強化計画策定について伺う。</p> <p>③漁業収入安定化対策について伺う。</p> <p>(3) 水産多面的機能発揮対策事業を活用した藻場造成について伺う。</p> <p>①効率性の高い活動組織への推進体制について伺う。</p> <p>②串木野新港次期計画地での藻場造成について伺う。</p>

一 般 質 問 通 告 順 序 表

No.2 (12月9日)

番 号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	福 田 清 宏	市 長	<p>1. 沿岸漁業振興対策事業について</p> <p>(1) 操業支援として、魚群探知機やGPS等の購入に対する補助金について、その後どのように検討されたか伺う。</p> <p>(2) 種子島周辺漁業対策事業を活用した魚群探知機やGPS等の購入について伺う。</p> <p>2. 交流センターについて</p> <p>(1) 野平交流センター建設計画の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 野平交流センターに併設する平江公民館の建設費に対する自治公民館建設整備事業補助金の有無について伺う。</p> <p>(3) 中央交流センターは、その後どのように改善されたか伺う。</p> <p>3. 土地区画整理事業について</p> <p>(1) 麓地区土地区画整理事業の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 野平地区土地区画整理事業について伺う。</p> <p style="padding-left: 20px;">①事業取止めに伴う環境整備について</p> <p style="padding-left: 20px;">②オコン川改修事業に伴う換地の措置について</p> <p>4. コミュニティ自動車の運行について</p> <p>地区まちづくり協議会を中心とする運営協議会を組織して、10人乗りワゴン車を市が購入・貸与し、運行経費の2分の1負担による運行の是非について伺う。</p> <p>5. 道路維持費について</p> <p>道路改良特別事業等の平成29年度の予算計上について伺う。</p>
2	大 六 野 一 美	市 長 教 育 長	<p>1. 防災行政無線について</p> <p>(1) 現在ある防災無線（屋外拡声施設）で、聞こえにくい地域はないか。災害時における情報提供手段であり、聞こえにくいと初動の避難に影響がでると思うが如何か。</p> <p>(2) 生福地区の防災無線は地域によっては全く聞こえない。幸い、中心にある吉村ヶ丘に串木野ダム用として整備されているが、今後、移設又は鉄塔を高くすべきと思うが如何か。</p> <p>2. 職員の育成について</p> <p>(1) 町おこしで成功しているところは、必ず職員のやる気と継続で成功しているが、どのように考えるか。 (参考：徳島県上勝町、岩手県葛巻町)</p> <p>(2) 市民のために対応することは大事であるが、政策提案ができる職員も必要と考えるが如何か。</p> <p>3. 学力テストとその影響について</p> <p>(1) 学力テストの結果が、全国及び県平均を下回った一番の要因は何か。この下回ったことが、子どもの将来にどのような影響があると思うか。</p> <p>(2) 挫折しない強い心と将来に向けて生き抜く力が重要と考えるが如何か。</p>

3	宇都 耕平	市 長 教 育 長	<p>1. 公用車へのドライブレコーダー設置について 公用車における事故等が発生しているため、使用頻度の高い公用車に対して、ドライブレコーダーを設置する考えはないか伺う。</p> <p>2. 給水車導入について 緊急災害時等における対応の中で、必要不可欠なものは、まずは水であると考え。給水車を導入する考えはないか伺う。</p> <p>3. ふるさと納税について 平成 27 年度の成果と課題をふまえ、今年度はどのような取り組みを行ってきたか伺う。</p> <p>4. 市道向井永田線拡幅改良工事について 現在、民間開発で 8 戸の住宅建築が計画されているが、接続する道路の幅が狭く、自動車の離合が困難であったり、交通事故発生のある恐れがあるため、拡幅改良できないか伺う。</p> <p>5. 「萬造寺齊」先生の顕彰について 羽島が生んだ歌人「萬造寺齊」先生にちなんだ短歌大会等を開催する考えはないか伺う。</p> <p>6. 生福保育所の民間譲渡について 生福保育所から療育園が移転し、公の施設に関する管理方針からすると同保育所の民間譲渡の環境が整ったと考えるが、今後の計画について伺う。</p>
4	田中 和矢	市 長	<p>1. 中央地区まちづくり協議会の施設について (1) 1,484 世帯 3,152 人が住むまちづくり協議会が、7 坪 14 畳の事務所で活動している。独自の交流センター設置はできないか。 (2) 災害避難場所に指定されているが、情報（台風の進路等）を知る手段として、テレビの設置はできないか。 (3) 事務所にインターネット及びパソコンを設置又は貸与できないか。 (4) 隣接の「かっちえるプロジェクト」の建物内に、中央地区まちづくり協議会使用の部屋を確保できないか。</p> <p>2. 税金の有効活用と市民生活の利便性について (1) 街路樹の剪定費用は年間どのくらいかかるのか。また、税金の無駄遣いをより少なくするため、残すべきものと撤去した方がよいものとの峻別したらどうか。 (2) 双方通行を一方通行化することで、道路拡幅と同等の効果が得られるのではないか。</p>